

院内巡視の実施

2018 年度も、医療安全対策・院内感染対策に対する職員のさらなる意識向上と各種対策の実施状況の確認のために、「気づきラウンド」と名付けた院内巡視を実施いたしました。

医療安全管理部の責任者である副院長とともに病棟、外来、血液浄化療法室、中央検査室、薬剤部、リハビリテーション室、放射線部を院内巡視しました。

「気づきラウンド」では、検査や処置等を実施する際にフルネームで患者様の使命を確認しているか、廃棄物の分別を適切に実施しているかなどスタッフの医療安全対策・院内感染対策への取り組み状況について確認いたしました。

今後も、このような活動を通じて当院に通院・入院される患者様に安全で安心して医療を受けていただけるよう努力していききたいと思います。



薬剤管理手順の確認をしています



患者誤認防止のため、患者様に名乗って頂いています

研修会の実施

2018 年度も院内の医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、臨床工学技師など多職種が講師となり医療安全の確保・院内感染防止に関する知識・技術について全職員を対象に研修会を実施しています。

今後も、職員一人ひとりが医療安全・院内感染防止を意識し考える場となるよう研修会を実施していききたいと思います。



前年度の感染予防対策が優れていた部署を表彰しています



大勢の職員が受講しています

他院との相互評価

2018 年度から医療安全対策の質向上のため、医療安全対策組織の活動内容及び現場での医療安全対策の現状について、連携する医療機関（山梨県立中央病院、貢川整形外科病院）から意見交換及び評価を受けることを目的とし、相互評価を開始しました。



県立中央病院による書類審査、
院内ラウンドを実施しました



各部門の内部までラウンドして
いただきました